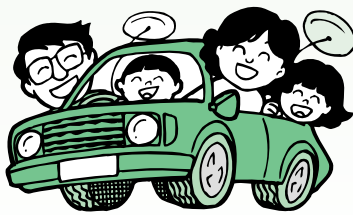


檜和田 正子議員

住民の安全を守るための施策について

問 飲酒運転のないまちにするための対策はあるのか。また、市民にどのような啓発を行っているのか。

答 飲酒運転の怖さ、悲惨さを強く市民に訴えるため、JR主要駅や商業施設での啓発チラシ等の配布や、防災行政無線および「広報いとしま」で飲酒運転撲滅を呼びかけている。



問 県道波呂神在線の改修工事の進捗状況について伺う。

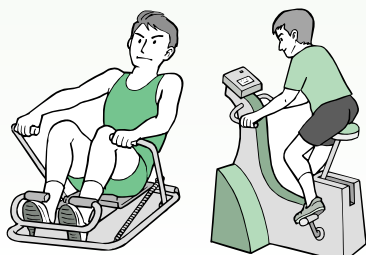
答 本事業は、福岡県の事業で現在、測量が終了し、関係者との協議が行われている。この協議が整い次第、用地買収に着手し、工事はおおむね5年間で完了する予定である。

三嶋 俊蔵議員

市民の健康づくりの推進について

問 地域社会全体の健康づくり推進に関する条例の制定が必要だと思いが、どう考えるか。

答 現在策定中の健康増進計画「健康いとしま21」と連動して、市民の健康づくりを推進するための条例制定について検討し、平成23年度中に成案を得たいと考えている。



合併効果とその検証について

問 合併効果の検証はどのように行うのか。

答 23年度から毎年行政内部で検証し、結果を公表する。検討の視点は、合併メリットの達成度、課題の解決度、合併協定項目の実行度の3点。課題があれば、早急に改善に努める。

中嶋 正信議員

糸島市の農業振興策について

問 糸島市農力を育む基本計画の目標に向かつてどのように取り組むのか。

答 基本計画のキーワードを「市民参画」と定め、消費者である市民と生産者である農業者がお互い支え合う関係を築いていくことにより目標を達成し、食・農・環境を将来の世代へ確実に継承していきたいと考えている。

問 農業の担い手の育成が重要課題と考えるが、どのような取り組みで確保していくのか。

答 認定農業者、集落営農組織の育成支援が重要であり、研修会などとおして、効率的かつ安定的な経営ができるよう支援していきたい。また、農業後継者、女性農業者、新規就農者の支援も基本計画に基づき積極的に取り組んでいく。



笹栗 純夫議員

環境・防災モデル都市を目指さないか

問 豪雨や地震から斜面を守り、市民の生命、財産を守り、自然景観の再生を図るために、全天候フォレストベンチ工法を推進することはできないか。

答 災害地の復旧工事やのり面工事においては、現地の状況により対応すべき工法が決まるが、本工法は景観上にも配慮した工法だと認識しているため、関係する県、あるいは国などにも提案していきたいと考えている。



フォレストベンチ工法

下水道整備事業が住民ニーズと符合しているか

問 計画ありきで事業が進められていないか、住民とのコンセンサスは十分図られているか伺う。

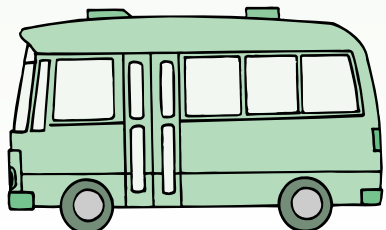
答 現状では旧自治体間で下水道整備の進捗に差異があるが、整備する地域の人口、地形、コストなどを勘案し、その地域に最も適した整備手法を選択しながら、受益者の理解を得た上で事業を進めていく。

松月 よし子議員

平成23年度糸島市施政方針「特別支援学校通学送迎事業」について

問 特別支援学校通学送迎事業の基本的な考えを伺う。

答 高等部の生徒は、自主通学が原則となつているが、現実には通学ができない生徒がいるため、平成23年4月より糸島市本庁舎から特別支援学校まで送迎車両による通学支援を行うものである。



問 切れ目ないきめ細やかな障がい児への充実した教育環境の推進についてどのように考えるか。

答 特別支援教育は、障がいのある幼児・児童・生徒への教育にとどまらず、障がいの有無や個々の違いを認識し、さまざまな人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものであり重要と考える。

伊藤 千代子議員

公平・公正な市政と開発行政の問題点について

問 前原東土地区画整理事業を推進して糸島市民にどんなメリットがあるのか。

答 市民に対するメリットとして、①定住化促進による市民税、固定資産税の増大が図られること、②宅地の造成や建物の新築など住宅関連産業の振興につながる点、③周辺住民の方々が望まれている新駅設置の実現に向けた後押しとなること、④新たな住民の消費により1人当たり約130万円の購買力が期待され、商業などの活性化が図られることなどが見込まれている。

地場産業の振興と元気なまちづくりについて

問 中小企業応援補助の予算は幾らになるのか。

答 商工業の事業予算については、商工会ホームページ構築補助が226万1000円。がんばる中小企業者応援補助に400万円を計上している。